



## 誰か故郷を想はざる

札幌市医師会清田区支部  
札幌里塚病院 副理事長  
近藤 正 一

このたびの震災で被災された皆様、心よりお見舞い申し上げます。

3月11日、東日本を襲った震災が発生した瞬間、私は手術室にいました。手術に集中していてもすぐに分かった異常な揺れに、「これはどこかで大変なことが起こっている」と感じたのを覚えています。そして、その後刻々としてくる情報から、東北から関東にかけての太平洋岸が壊滅的な被害を被っていると知ったのです。

私の生まれ故郷である福島県南相馬市も甚大な被害に見舞われましたが、そこに住んでいる私の親戚・友人たちが無事であったことが不幸中の幸いでした。

実は私は、「故郷は捨てた」と軽い気持ちで考えていました。高校を卒業するまでの18年間を過ごした街ですが、過疎化が進んで魅力に欠けるように思えたことと、両親が既に他界していたこともあり、故郷に対する愛着心が徐々に薄れているように感じていたのです。

しかし、メディアで連日のように伝えられる地震、津波、そして原発事故による痛ましい犠牲や悲惨な現状を知るにつれ、今まで感じたことのない強烈な望郷の念が溢れてきて、私は居ても立ってもいられなくなりました。

テレビを見ながら泣きました。「すぐに現地に行きたい」今考えればあまりにも無計画で、情に流された拙速な考えだったのですが、当時の私は真剣でした。現地在震災の混乱の渦中にあり、交通機関も確保できない状況の中、今すぐにでも故郷に飛んで行き、がれきの除去や医療支援を手伝いたいと訴えては、周囲の人達に冷静になるようにと諭されて我に返る、そんな始末でした。

この東日本大震災は皮肉にも、捨てたと思っていた故郷の大切さと愛おしさを、私に強く想起させてくれたのです。今でも思い出せる子供の頃に遊んだ野山や海岸、そしてたくさんの美しい自然は地震と津波、そして原発事故という未曾有の悲劇によってことごとく破壊されてしまいました。けれど私は、私の大切な故郷が必ず蘇ると信じています。

わが郷土福島の皆さん、私も微力ながら、私のできる方法で精一杯支援をさせていただきます。もちろん多大な時間と労力が必要でしょう。でも、諦めなければ必ずできる。一緒に、あの懐かしい故郷の復興をきつと成し遂げましょう。

まさに「誰か故郷を想はざる」です。

## お知らせ 第38回 全道医家囲碁大会開催のご案内(予告)

標記大会を下記のとおり開催いたしますので、多くの会員にご参加いただきたくお知らせいたします。なお、申込み等につきましては、9月1日号、10月1日号の医報附録にて改めてご案内申し上げます。

### 【大会】

日時 平成23年11月20日(日)  
・対局 午前9時～午後4時  
・懇親会 午後4時～午後5時30分  
会場 札幌市医師会館5階  
札幌市中央区大通西19丁目  
TEL 011-611-4181

### 【お問合せ先】

〒060-8627 札幌市中央区大通西6丁目  
北海道医師会事業第5課内  
全道医家囲碁連盟事務局  
(担当：若松・大野)  
TEL 011-231-1434  
FAX 011-241-3090  
E-mail: 5ka@m.dou.jp